

## 2種類のアドオンソフトウェア 「Event Emulation」「Event Annotation」

**OpenSignals Softwareでは「Event Emulation」と「Event Annotation」の2種類のアドオンソフトウェアを用意しております。**

### 概要

「Event Emulation」は、定義された信号が事前に決めた閾値に達した場合、自動的に事前に登録したキーボードのキーをエミュレートすることができます。このアドオンソフトウェアはトライアル版とフルバージョン版があり、前者は手動で閾値を定義する必要がありますが、フルバージョンでは、閾値レベルを自動的に測定することができます。

「Event Annotation」は、信号にマークを付けてイベントを作成することができます。

作成したイベントマークは別のファイルに保存され、視覚化モードで開くこともできます。

つまり、「Event Emulation」を使って、信号を使ってキーボードのキーをエミュレートすることができるに対し、「Event Annotation」はキーボードのキーを使って、信号にマークをつけることができます。

### 利用条件

	エクスプローラー	リサーチャー	プロ
「Event Emulation」トライアル版	○	○	○
「Event Emulation」フルバージョン版	×	×	○
「Event Annotation」	○	○	○

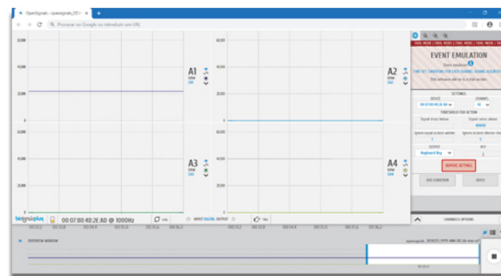
※「Event Emulation」フルバージョン版を使いたい場合、マックアドレスをPLUXiに伝え、メーカー側でのアクティベーションが必要となります。

### 使い方

「Event Emulation」は、ご自身がイベントとなる条件(値)を先に定義して頂き、

その条件を満たした場合、ソフトウェアでは自動的に識別し、タグを立てられます。

例えば、「最小5秒間のうち、1chで取得した値がしきい値40000を超えると、「s」キーが押される」と設定すれば、プラグインの表示は右図となります。



「Event Annotation」ですが、

定義したキーボードのあるキーを押すことにより、イベントを作成されます。

そのイベント情報が入っているファイルは取得したデータを含むテキストファイルに保存されておらず、

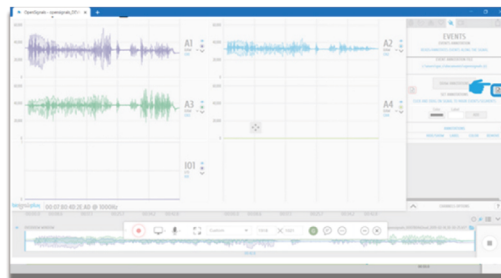
取得したテキストファイルと同じ名前で、「...\_EventsAnnotation」が含まれている別のテキストファイルに保存されます。「...\_EventsAnnotation」テキストファイルは、常にOpenSignals auxディレクトリの

tempフォルダに保存されています。

(標準インストールの場合は "/ Documents / OpenSignals (r) evolution / temp")

またOpenSignalsの再生機能で表示されたい場合、以下のステップで設定してください。

1、「...\_EventsAnnotation」ファイルをインポートしてください。



2、「DRAW ANNOTATIONS」ボタンをクリックしてください。

